

ランブータン通信 (第1号)

残暑お見舞いを申し上げます。こちらは年中暑いのですが、日本の猛暑日のような強烈な暑さは少ないように感じます。今回は、私が勤務している IWMI の概要と、スリランカの気候についてご紹介します。

■ IWMI の概要と、私の研究内容

国際水管理研究所 (International Water Management Institute; 略称 IWMI) は、1984 年に設立された国際的な非営利の研究機関です。国際農業研究協議グループ (略称 CGIAR) の傘下機関という位置付けになっています。本部はスリランカで¹、現在アジア・アフリカ地域の 12 カ国に拠点が設置されています。

IWMI は、CGIAR の一員として世界の食糧安全保障のための研究に取り組んでおり、中でも特に、発展途上地域での持続的な水・土地管理に寄与する科学的な解決策を提供することを目指しています。IWMI では現在、研究の軸として 6 つのテーマが設定され²、研究職員はこれらのテーマのいずれかに従事して研究に取り組んでいます。

私は、上記のテーマのうち「Water Availability, Risk and Resilience」に所属し、日本の農林水産省からの資金供与プロジェクトに従事しています。現在は、南アジア・東南アジア地域の早期洪水警報システムや洪水保険システムの構築などによる洪水・渇水被害の軽減に貢献すべく、洪水解析モデルによって対策の効果を評価する方法の開発や、地球規模でのリアルタイム洪水リスクマップの構築に関する研究に携わっています。

■ スリランカの気候と、今年 5 月の洪水について

スリランカは熱帯に位置する島国ですが、年中同じように暑いのではなく、季節風 (モンスーン) の影響を受けて気温や降水量の傾向が季節的に変化します。また、島の中心部にある山岳地帯では標高が高いため気温が低く、また、山地によって季節風が遮られるために島の南西部と北東部で気候の傾向が異なります。スリランカの季節は、一般に、下記のように 4 つに大別されます。

- 第 1 インターモンスーン期 (3 月～4 月) : 一年で最も暑い時期です。島の南西部や山岳地帯などで時折、夕方になると激しい雷雨が発生することがあります。
- 南西モンスーン期 (Yala 期 ; 5 月～9 月) : 南西からの季節風の影響を強く受ける季節です。南西部や山岳地帯では、特にこの期間の前半に多量の降水がもたらされます。一方で島の北東部では降水量が少なく、乾燥した気候になります。
- 第 2 インターモンスーン期 (10 月～11 月) : 無風期ですが、熱帯低気圧などの影響で、島全体で降水量が多くなります。

¹ スリランカに本部が設置された経緯は、ホームページ<http://www.iwmi.cgiar.org/>に記載されています。ご参照ください。

² 各テーマの内容については、ホームページをご参照ください。

- 北東モンスーン期（12月～2月；Maha期）：北東からの季節風の影響を強く受ける季節で、北東部では降水量が多くなります。南西海岸では天候の良い日が多く、波風も穏やかなので、ビーチリゾートのベストシーズンです。

このような気候は、もちろんスリランカの農業にも影響を与えています。稲作は2つのモンスーン期に対応しており、降水量の多い南西部では主に二期作で、Yala 期に乾燥している北東部では Maha 期が主な作期となります。果物にも旬があり、たとえばランブータン³（写真1）は6月～7月ごろに街中で売られている光景がよく見られます。

さて、ご存じの方もおられると思いますが、今年5月に熱帯低気圧に伴う大雨で、スリランカ各地で洪水や土砂崩れなど甚大な被害が発生しました。コロンボ市内での降雨が最も激しかった日曜日、私は屋内施設でフットサルに興じていたのですが、みるみるうちに周囲が冠水してしまいました（写真2）。IWMI では、この豪雨災害について、緊急で洪水マップを作成してウェブ上で公開しています（下記 URL 参照）。

<http://www.iwmi.cgiar.org/2016/05/iwmi-responds-to-floods-in-sri-lanka/>



写真1 ランブータン



写真2 冠水の様子(2016年5月15日)

■ インターンシップ生、募集中

広告です。IWMI では、随時、大学院生やポスドクの方のインターンシップを受け入れています。現在（8月中旬時点）、私たちのチームには、日本から修士課程の学生1名と、オーストラリアから2名がインターンシップ生として研究に参画しています。内容は、アジア・アフリカ地域の洪水・渇水リスクに関する研究です。詳細な研究内容や費用面については要相談ですが、海外インターンシップに興味がある方は、まずはぜひお気軽にご連絡ください。

地域資源工学研究領域 吉本周平 <s.yoshimoto@cgiar.org>

³ ライチによく似た果物で、赤い皮を剥くと白い果肉が現れます。旬の時期には安く大量に入手することができます。

ランブタン

毛の生えたレイシといわれるほど、レイシに似た爽快さがある。東南アジアの代表的な果樹として広く栽培されているが、収穫に多くの人手を要すること、収穫後の果面の柔刺の変色が早く、出荷して青果価値がすぐ損なわれるなどの理由で、最近では単価の高い果樹への転換も行われている。



ランブタンのデザート用完熟果実
(タイ・プラチンブリ)

(国際農業研究叢書第4号 1997.9 発行
熱帯果樹とその利用 農林水産省 国際農林水産業研究センター発行
P14 及び P145 から引用)